

令和7年4月1日

各中学校長 様

佛教大学高大連携センター長

高見 仁志

令和7年度 中学校への出張講義について

謹啓 貴職におかれましては、益々のご清栄のことと拝察申し上げます。日頃より本学の教育活動にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本学では、令和5年4月に高大連携センターを設置し、高等学校をはじめとし、各教育機関との連携を図り、高大連携事業の実質化に向けた取り組みを推進しております。

つきましては、今年度より佛教大学保健医療技術部作業療法学科の特色を一層理解していただく機会として、下記のテーマにて50分程度の体験型講義をご用意し、積極的に各中学校を訪問させていただき出張講義を実施する運びとなりました。総合的な学習の時間の福祉学習等の一環としてご検討いただけますと幸いに存じます。

何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

【テ ー マ】 「障害疑似体験から学ぶ」ほか（別紙参照）

【費 用】 無 料

【申込方法】 別紙「佛教大学出張講義申込書」に必要事項をご記入いただき、原則として、実施日の6週間（1ヶ月半）前までにお申し込みください。

【申 込 先】 佛教大学高大連携センター

FAX(075-493-9046)または Mail (butsu-dai@bukkyo-u.ac.jp)へ送信いただきますようお願いいたします。

以上

【連絡先】 〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町 96

佛教大学高大連携センター

TEL 075-366-5550（入学部直通）

佛教大學 出張講義 申込書

お申込日(本状送信日)	年 月 日	
高等学校名	高等学校	
ご担当の先生のお名前	ふりがな 先生	
ご住所	〒	
電話・FAX番号	電話 () -	FAX () -
E-MAIL アドレス		

希望日時	第1希望日 年 月 日()	第2希望日 年 月 日()
	集合時間 :	集合時間 :
	講義時間① : ~ :	講義時間① : ~ :
	講義時間② : ~ :	講義時間② : ~ :
希望内容	☐ 模擬講義 希望分野()	
	☐ 学問分野別説明 希望分野()	
	☐ 大学紹介・入試制度説明	
参加予定人数	☐ 1年生()名 ☐ 2年生()名 ☐ 3年生()名	
貴校で使用可能な機材	☐ パソコン ☐ プロジェクター ☐ スクリーン ☐ DVDプレイヤー	
実施形態	☐ 他校と合同(参加予定 校) ☐ 本学単独	
業者のコーディネート	☐ あり(業者名) ☐ なし	
その他ご要望や 質問などがあれば こちらにご記入ください。		

佛教大学入学部 FAX(075-493-9046) またはメール(butsu-dai@bukkyo-u.ac.jp)へ
送信いただきますようお願いいたします。

※講師派遣の調整を行う都合上、日程に余裕をもってお申し込みいただきますようお願いいたします。

佛教大学

佛教大学 出張授業概要

実施教員	所属	保健医療技術学部 作業療法学科
	職・氏名	教授・赤松智子

テーマ	障がい疑似体験から学ぶ		
実施目標 (何を学んでもらうか)	本授業では、「障がい」の要素も含めたダイバーシティ(多様性)とインクルージョンの基本的な考え方についてご紹介します。 障がい体験を通して、各々個人が感じることの違いを知り、障がいに対する援助や工夫の必要性について学びます。		
授業内容の要旨	「障がい」の要素についてご説明し、ダイバーシティとインクルージョンの視点について理解を深めていただきます。 演習では、障がい疑似体験「折り紙活動」をしていただきます。 その後に、グループディスカッションを通して、各々の感じ方の違いを知り、障がいに対する援助方法や工夫の必要性について考えます。		
授業形態	☒ 講義	☐ 実習	☒ 演習・グループ
対象人数	人数制限はありません		
必要機材	☒ プロジェクター	☒ スクリーン	☒ パソコン
	☐ その他		☐ 特になし
実施に当たってのその他、留意事項など	特になし		

佛教大学 出張講座概要

実施教員	所属	保健医療技術学部 作業療法学科	
	職・氏名	准教授・菅野圭子	

テーマ	高齢者の生活模擬体験から学ぶ		
実施目標 (何を学んでもらうか)	本授業では、①年齢を重ねることによって生活上どのような大変さを感じるのかを体験し、加齢による変化を理解すること、②高齢者の生活を支援する方法を学び、自分たちにできることを考える、を目標としています。		
授業内容の要旨	教員から高齢者の特徴を簡単に説明し、その特徴を表現した高齢者体験スーツについて紹介します。その後、高齢者体験スーツを装着し、日常のよくある行為を実施し、その行為中の体験を記録します。その後、体験記録を元に、生活を支援する方法を考えたり、自分たちにできることを考えまとめていきます。		
授業形態	☐ 講義	☐ 実習	☒ 演習・グループ
対象人数	40 名程度		
必要機材	☒ プロジェクター	☒ スクリーン	☒ パソコン
	☒ その他：高齢者体験スーツ、模擬キッチン（皿、ナイフ、コップなど）		☐ 特になし
実施に当たってのその他、留意事項など			

佛教大学 出張講座概要

実施教員	所属	保健医療技術学部 作業療法学科
	職・氏名	准教授 中西 英一

テーマ	バリアフリーについて考える		
実施目標 (何を学んでもらうか)	障害をもって生活することを考えながら、物理的障壁や人的障壁について考え、バリアフリーの意味を考える。		
授業内容の要旨	車椅子などで生活するときに何が大変かを考え、障害とは何か、障壁とはなにか（人的・物理的・制度的）を考える。		
授業形態	☐ 講義	☒ 実習	☐ 演習・グループ
対象人数	40 名		
必要機材	☐ プロジェクター	☐ スクリーン	☐ パソコン
	☒ その他：車椅子、スロープ、片麻痺体験スーツ、高齢者体験スーツ		☐ 特になし
実施に当たってのその他、留意事項など	動きやすい服装で参加してください。		